

市民建産常任委員会

平成30年8月28日

委員長 高原 伸二

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、平成30年8月6日、7日に、関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部

人権センター（30分）

人権教育・啓発係より、人権施策推進事業として古賀市人権施策審議会について、人権教育・啓発事業として同和問題啓発強調月間の取組・まちづくり出前講座について、人権相談事業として人権擁護委員活動支援・人権センター職員対応相談について、人権関係団体推進事業として古賀市社会「同和」教育推進協議会委託事業について、各報告がありました。

委員から、市民が楽しみにしていた市民のつどいが台風で中止になった、日程調整後、再度臨むのか、との問いに、今年度の市民のつどいについては中止したとのこと。

人権相談事業「そうだん5（ファイブ）」について、平成30年度は相談件数が増えているがその要因は、との問いに、同じ人が何度も来られて件数が増えた（2名が各5～6回来られた）とのこと。

収納管理課（16分）

収納管理係より、平成29年度市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料等の収納状況（5月末日現在）について、続いて平成30年度市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料等の収納状況（6月末日現在）について、次に、平成30年度滞納処分状況（4月から6月までの実績）について、最後に確定延滞金（6月末で1億2,281万3,998円）の状況について報告がありました。

委員から、平成30年6月末の確定延滞金が、国保税分が前年度から二百数十万円の増となっているが、2、3年前の大幅な改定値上げの影響か、との問いに、延滞金の本税の部分の納付が終わったということであり、確定延滞金が増えたので滞納額が増えたという捉え方ではなく、本税の部分だけ払われている方が増えたとの見方もできるので、一概に全体がどうだということは、難しいとのこと。

平成29年度決算から成果報告書のあり方を一本化するということだが、収納管理に関する平成28年度決算を見ても、成果報告、項目は、健全な行財政の取組、適正な行財政運営の推進等の項目はあるが、税収を確保するという意味での成果報告書への反映はなかったがなぜか、との問いに、古賀市は県内でも徴収率は非常にいい位置にあり、あえてそれを目標にすること自体が大きな意味を成さないのでは成果報告等から除いたと思うが、今ある高い収納率を維持していくことを肝に銘じ、業務に取り組んでいきたいとのこと。

市税課（16分）

市民税係より、市税調定状況から、個人住民税、軽自動車税、固定資産税の6月末の調定額、納税義務者数について、続いて、過去10年間の現年課税の調定と収入の推移について報告がありました。

委員から、調定額は市民税だけでも3,000万円を超す増、納税義務者も455人増ということで、景気回復のいい面が古賀市の納税者に反映していると評価していいのか、との問いに、増の内訳を分析すると、年金が主な方も給与所得の方も増えている状況になっているので、緩やかに回復している状況ではないかとのこと。

平成29年、30年度に影響するふるさと応援寄附額に係る市民税減税予定額は幾らなのか、との問いに、ふるさと納税分の市民税に対する影響額は、平成29年度は2,751万4,510円、平成30年度は3,978万2,223円と見込んでいるとのこと。

市民国保課（29分）

市民係より、6月末現在の人口、外国人国籍別人口、個人番号カード交付枚数、コンビニ交付サービスの利用実績について報告がありました。

国保係より、6月末現在の国民健康保険世帯数等について、続いて国民健康保険税賦課結果等について報告がありました。

年金・医療係より、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障害者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数について、続いて後期高齢者医療保険料賦課結果等について報告がありました。

委員から、古賀市における外国人の実習生や労働者の問題は、今後、大きなウエイトを占めると思われる。古賀市に居住、働いている外国人を把握する計画はあるのか。また、外国人の入管法の規定、労働基準法による規定等を市役所の中で基礎的な知識を習得しているのか、との問いに、外国人労働者の数は市民国保課では把握していない。入管法窓口は市民国保課になるが、労働基準法は労働者の関係で市民国保課の担当ではないとのこと。

国民健康保険税の調定額は県の一本化に伴い減額ということだが、幾らの減額になったのか、との問いに、平成30年度と平成29年度の差額は、5,242万2,600円とのこと。

現在、緑の住居表示板が各玄関口に設置されているが、それが取れたり、剥がれたり、設置されていない家庭もある、そういった調査、補修、修理は、との問いに、住居表示板の調査は行っていないが、破損等の連絡があれば、市が無料で作成しているとのこと。

環境課（56分）

環境整備係より、第2次古賀市環境基本計画について、地球温暖化対策に関する取組について、ぐりんぐりん古賀について、グリーンカーテンの匠事業について、飼い主のいない猫に関する取組について、最後に畜犬について、各報告がありました。

資源循環推進係より、平成29年度の「ごみ処理量」と「資源化率」について、循環型社会形成推進事業について、次に食品ロス対策について、最後に災害廃棄物処理計画について報告がありました。

海津木苑より、平成30年度海津木苑処理状況（6月末の搬入量、汚泥搬出量、試験及び検査結果等）について、平成30年度海津木苑整備工事について、続いて、海津木苑施設等啓発について、最後に、次期し尿処理施設について報告がありました。

委員から、飼い主のいない猫に関する取組について、5月に子猫が生まれる時期だが、5月以降の相談件数、引き取り数は、との問いに、相談件数は資料がないが、引き取り数はボランティアの協力をお願いし、60頭近くの子猫を保護し、里親探しに努力していただいているとのこと。

建設産業部

農林振興課（50分）

農林振興係より、林業総務費関連から、林業振興事業費（県産材使用木製備品）について報告がありました。

農政係より、農業委員会費関連から、農業委員会運営事務費の農業委員会の改選について、農地パトロールの実施について、続いて、農業振興費関連から、農業振興地域整備事業費の農家への意向調査（農家アンケート）の実施について報告がありました。

農林土木係より、農地費関連から、青柳山見坂水路改良工事について報告がありました。

その他として、平成30年7月豪雨による被害について、朝どりこがスイーツコーン祭について、農家直売！軽トラ市についての報告がありました。

委員から、小野南部圃場整備の進捗状況は、との問いに、現在、市単独で水はけが悪い田の改良、裏作の作付けに影響する排水不良を解消するための暗渠排水管を設置している状況で、平成32年度完成予定とのこと。

農商工連携による特産品の掘り起こしの進捗状況は、との問いに、古賀市の特産品を販売する直販のサイトを立ち上げ、周知のためのイベント開催等を現在計画しているとのこと。

7月の豪雨災害の状況について、ため池の水が越水しかけた状況とのことだが、池の監視・管理はどこが行っているのか、また、今回、損傷等があったのか、との問いに、日常管理はため池保有の農区で行い、警報が出る恐れがある場合は、農林振興課から各農区長へ連絡して巡回等をお願いし、警報解除後は各農区に被害がないかどうかの確認を行っている。また、今回、損傷等はなかったとのこと。

福岡市ではいちご「あまおう」の輸出が前年と比べて2倍の伸びを示し、好調という話があるが、古賀市の農家も輸出の動きがあるのか、との問いに、消毒等の規制が高い中で、福岡県やJA粕屋と協力しながら支援を行っている。また、「あまおう」が一つの起爆剤となり、ほかの農産物もあらわれてくるよう期待しているとのこと。

商工政策課（1時間19分）

企業支援係より、無料職業紹介所について、企業訪問活動について、工業力PR事業（工場見学・体験事業）について、福岡県70歳現役応援センター出張相談会の開催について、福岡県中高年就職支援センター出張個別就職相談の開催について、第7回古賀モノづくり博「食の祭典」について、各報告がありました。

商業観光係より、消費生活センター相談実績、道の駅基本計画策定委託について、生産性向上特別措置法に基づく古賀市導入基本計画について、市内消費促進事業（プレミアム商品券発行事業）について、古賀よろず創業・経営相談窓口について、第34回まつり古賀の開催について、各報告がありました。

物産振興係より、平成29年度におけるふるさと応援寄附に係る影響額は、4億6,967万7,635円のプラスであり、平成30年度6月末までの寄附申込状況は2,908件で、金額として3,768万5,000円とのこと。

委員から、無料職業相談所について、離職率は、との問いに、職業安定法の改正により離職率を調査することが義務づけられているが、今、徐々に始めている段階で、まだ集計までは至っていない状況とのこと。

古賀モノづくり博「食の祭典」について、補助金審査委員会の判定では、食の祭典は廃止と出ているが、との問いに、食の祭典、まつり古賀については、補助金審査委員会で廃止ということになったが、財政課の協議としては、市にとって必要な事業で継続となった。しかしなが

ら、審査委員会の指摘事項にある、補助対象経費を明確にすること、効果測定について検討することについては予算要求に向けて対応を進めていくとのこと。

工業力 PR 事業（工場見学・体験事業）について、定員 50 人のところに 93 人の応募があり 43 人は漏れてしまったとのこと、応募者全員の希望がかなう対策はできないのか、との問いに、従来はがきによる応募方法を、インターネットで申し込めるように変更したところ応募者増となった。参加させたい気持ちはあるが、人数が増えると子どもたちの世話をするという対応ができなくなり、今後、考えていく内容とのこと。

道の駅基本計画策定委託について、今回のマーケティング調査は改めてゼロから調査することなのか、前年度までのコンサル結果では、12 億数千万円の投資見込み額、市の負担見込み 8 億 2,000 万円、場所はコスモス広場の道路を挟んで反対側、規模は 1.8 ヘクタールという方向性まで示されていたが、との問いに、前年度調査の 1 番のポイントは、候補地の検討、それに付随し候補地で道の駅をつくった際に必要となる一般的な規模の算定であった。今年度の調査では、その道の駅に必要な機能、役割、設備等について検討し、それに基づき投資額、売り上げ規模の算出等をしていくとのこと。

生産性向上特別措置法に基づく古賀市導入基本計画についての現状は、との問いに、現在、認定が 1 件、申請中の事業所が 1 件、国の補助金に 1 次で申請をして落ち、2 次に向けて頑張っているところが 2 件の状況であり、国の補助金が 8 月に公募が始まるのでそれと連動しながら、商工会等と連動、連携して周知を図っていきたいとのこと。

都市計画課（1 時間 30 分）

冒頭、都市計画課内に古賀駅周辺開発室が設けられた組織改編について、副市長より報告がありました。

都市計画係より、空き家・空き地対策事業について、続いて、平成 30 年度公園工事（8 件）について報告がありました。

開発指導係より、町川原 1 区開発許可条例区域指定について、報告がありました。

土地利用政策係より、景観計画策定事務について、続いて、都市計画マスタープラン改訂事務について報告がありました。

委員から、空き家・空き地対策の利活用について、福岡市では、保健福祉部や社会福祉協議会等の協力があると聞いている、古賀市の場合は、との問いに、古賀市内で発生している空家は、バンクに登録すれば空家が解消する状況なので、現在福岡市のような計画を立てる段階ではないとのこと。

都市計画マスタープラン改訂事務について、校區別構想を次のマスタープランに入れるのか、との問いに、現在の都市マスも校區別になっている、総合振興計画の記述とずれが生じている部分については書き込むとのこと。

古賀駅周辺開発室について、事業者、企業、UR との協議は室長が一貫して臨み、市の意向を伝え、相手側の意向を把握していく方針か、また、引き継ぎは、との問いに、概ね室長と開発推進係長の 2 名は必ず協議に出席する方針を定めており、引き継ぎは経営企画課と行うとのこと。

建設課（30 分）

土木係より、公共土木事業について、施工中 1 件を含む 11 件について報告がありました。

管理係より、平成 30 年度県事業工事予定箇所では、工事内容 100 万円以上の 11 ヶ所について報告がありました。

地籍調査係より、平成 30 年度地籍調査事業の実施区域について、現在の進捗状況の報告がありました。

委員から、薬王寺 51 号線道路新設工事について、工事未着手場所の状況は、との問いに、相続未登記地で、江戸時代からの名義になったままの相続人が 67 名おり、現在、弁護士委託等を実施し 65 人が古賀市に寄附で進めている。残り 2 人も、裁判で古賀市に名義を変える目途がついており、工事についても年内には完成する見込みとのこと。

西鉄宮地岳線跡地整備について、進捗状況、今後の予定は、との問いに、古賀北区で説明会を開催し、現在、第 2 回の説明会に向けて調整を進めているところで 8 月末か 9 月中には実施したい。また、最終的には市長と市民との意見交換会の場を設けたいと調整しているとのこと。

下水道課 (35 分)

下水道係より、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置促進事業について、各報告がありました。

管理係より、管理係所管事務事業について、下水道事業の地方公営企業法適用と下水道使用料改定に係る市民周知等のスケジュール、次に薦野・米多比農業集落排水施設（Ⅰ期地区及びⅡ期地区）の接続状況について、各報告がありました。

委員から、鹿部線路横の調整池について、放流口周辺の雑草対策は、との問いに、調整池の大きかりな浚渫は数年ごとに実施する必要があるが、放流口周辺は人力でできる範囲で対応したいとのこと。

バイオマスに関する調査と消化ガス発電について、進捗現状は、との問いに、バイオマスは、食品残渣等受け入れも含め検討中、消化ガス発電は、ガスの発生量が想定していた採算ラインよりも量を下回っている状況で、消化タンクの改築とあわせ事業化に向けて検証を継続していきたいとのこと。

水道課 (20 分)

配水係より、平成 30 年度の主要な事業から委託 2 件、工事 8 件について、続いて、古賀ダム貯水状況について報告がありました。

管理係より、平成 29 年度決算速報について、業務量、収益的収支、資本的収支について、各報告がありました。

委員から、決算速報について、単年度で見る限りの評価は、との問いに、安定した水道供給ができており、昨年度より約 1,800 万円下がってはいるが 1 億 3,000 万円の黒字で、数字としては比較的よい数字ではないかとのこと。

料金の改定のあり方についての見通しは、との問いに、12 月の答申や 3 月議会で受けた意見をもとに、将来的には口径別料金の導入を考えており、継続的に検討しているとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。